



## Ni skribu! の添削指導例

戦前の作家、北条民雄の隨想『断想』の途中の一文のエスペラント訳について、#KYさんが【原文】【訳文】を提示し、それをNi skribu!の講師(#HM,#SZ,#YS)がいろいろコメントしているところです。#KYさんもコメントしています。なお、これは一文へのコメントに対するはかなり長い例です。

**【原文】** どんな、どん底の人間だつて希望は残つてゐる。

**【訳文】** *Eĉ homo ĉe fundo tenas sian esperon.*

### 【コメントのやりとり】

#SZ: ここは *oni* でなく明確に *homo* としていて、良い。

#YS: 「どんな」は *eĉ* でも、*ia ajn, ajna* でも良いと思う。但し、現訳文は何となく舌足らずの感あり。

#YS: 「どん底」は *ĉe fundo* だけでは意味不明。*eĉ homo en la plej profunda mizero* では訳し過ぎか。

#SZ: そうですね。よくある言い方としては *homo ĉe la fundo de la mizero*。

#YS: *ĉe la rando de* とは言うが、*fundo* の場合、*en la fundo de* ではないか。

但し、英語では *on the edge of, at the bottom of* という。

#YS: 「残っている」を「人+他動詞」で訳したのは良いと思う。

#HM: エス文だけからは "Eĉ homo en la fundo" がよく分からぬ。日本語原文を参考して、=> *Iu ajn homo, eĉ en la plej profunda fundo, tenas sian esperon.*

#YS: *profunda fundo* と続くのが気になります。でもウィキペディア「どん底」のエス版は *profunda fundo* です。その他、*Reta Vortaro* (*kviet/a* の項) を含めグーグルヒットは多いです。なので、*profunda fundo* がよさそうです。

#KY: 私も *profunda fundo* は直感的に思いついたのですが、私の検索が十分ではなく使われていないと勘違いしました。検索の方法が場当たり的なのを改善したいです。*eĉ* の位置について検討すればよかったです。

#YS: 私の試訳は次の通りです。 *Ajna homo eĉ en la plej profunda mizero ankoraŭ havas esperon.* やはり、何故か直感的に *eĉ* はこの位置になります。*ankoraŭ havas* で「残っている」を表現したつもりです。SZさんの *teni* なら *ankoraŭ* は特に無くても良いです。結局、同じことを表現するのに、いろいろ違った方法があるということです。

#SZ: *tenas* は KYさんのもとの案です。で、もとの案は *ĉe fundo* だけ工夫すればよいでしょう。*en la* でもよいとおもう。(fundoとはいっていないが、実質それを想像させる)

(以上)